

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0781
施設名	鹿骨おひさま保育園
施設所在地	東京都江戸川区鹿骨2-23-1
法人名	社会福祉法人えどがわ

## 1. 活動のテーマ 【1歳児ひよこ組・あひる組】

<テーマ>

木

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

自然豊かな環境にある登園は日々、散歩や戸外遊びで自然に触れている為「木」はとても身近な存在。その木に興味を深め木で出来ている物・玩具に発展していく中で、子ども達が主体的に遊びを進めていけると考えた。木について興味を深め、遊びを発展させたい。

## 2. 活動スケジュール

4月 戸外で自然に触れ「木」に関心を持つ。木で出来ている身近な物や玩具に気付く。  
10月 木の実・落ち葉・木登り等木に触れる。カプラ導入・熟年者交流会で体験する。  
12月 子ども達へヒントや共有する楽しさを伝えられる様、カプラ園内研修を実施する。  
木製玩具の導入/手触り・音・硬さ・色等の違いに気付く。  
カプラと組み合わせてイメージを広げる。(積木・人形・動物・カタカタ等)  
1月 戸外活動で改めて「木」を身近に感じ、気付きを大切にする。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・散歩では自然に興味を持ち、木の実や葉を持ち帰れるよう入れ物を用意。
- ・手触り、香り、音等楽しめるよう各部屋にカプラを配置(増量)。
- ・カプラを広げるスペースの確保(FS/ホール)。完成見本写真を用意。
- ・保護者周知の為プロジェクト、スクリーンを準備。HPやお知らせで周知。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・散歩や戸外遊びを通して木の実や木など自然に触れて遊ぶ。
- ・カプラや木製のパズルを用いて、木に親しみを持って遊ぶ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

木に実際に触れて「硬いよ」「ザラザラしてる」と発見を楽しんでいる姿があった。木の実がなっているのに気が付き「なんかなってる」「これなに」と興味を示していた為、どんぐりの木のことを伝えると嬉しそうに拾って集め、園や家に持ち帰り楽しんでいた。

カプラでは、線路に見立てて並べたり、形を作ったりしながら楽しむ姿が見られた。「高くしたい」など子ども達からの発信や気付きも回数を重ねるごとに増えた。高く積んだ後に崩れた際に鳴る「がらがら」という音に「きゃー！」と楽しそうな声が聞こえ「もう1回」と保育士にお願いしながら繰り返し楽しんでた。

木のパズルでは下に絵が描いてあるところに上手にはめて「あったよ!」「できたよ」と楽しんで遊んでいる声が聞こえてき



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

散歩先に向かう際に「どんぐりあるかな」等保育士の声掛けから子ども達自身で見つけていく事で、自然と木や実への興味が広がっていった。持ち帰るバックを用意したことで、集める楽しさや自然に触れるきっかけとなった。また、保護者とのコミュニケーションの1つとなるものとなった。カプラでは、保育士の作っている物を見て真似をしたり自分たちで作ってみようとする意欲を感じた。パズルを出したことで机上遊びに興味を持ち、集中して遊ぶこと出来るようになってきたように感じる。